

「STOP！ 原発再稼働 3・23 市民合同記者会見」

日時： 2012年3月23日（金）12:00～13:00

場所： 衆議院第一議員会館第3会議室

- ・福島を繰り返さないために、事故の原因究明を
- ・規制組織を見直すべき
- ・ストレステスト一次評価では安全性確認できず
- ・大飯3・4号「制御棒挿入性評価値」引下げ
- ・事故時の影響可能性のある地域への説明と合意を
- ・関西電力「電力不足」のうそ

定期点検で停止中の原発の再稼働に向けた議論が、特に先行する大飯3、4号機について大詰めを迎えています。しかし現在のプロセスは、福島第一原発事故の原因究明も終わらず、安全審査基準や規制組織の見直しのないままに進められています。国民の声が反映される場もありません。

加えて、大飯3、4号機について、関電・保安院側が、活断層3連動の際にも基準値を超えないよう、制御棒の挿入性評価値を引下げていることが明らかになってきました。

こうした緊迫したなか、市民、著名人、および福島、福井の地元から、改めて「再稼働STOP！」の意思表示と最新情報の共有を行います。

●参加予定、プログラム

1. STOP！再稼働 最新状況と市民の声

宮台真司（社会学者）

雨宮処凛（作家）

杉原浩司（福島原発事故緊急会議／みどりの未来）

満田夏花（国際環境 NGO FoE Japan）

竹村英明（eシフト／環境エネルギー政策研究所）

吉岡達也（脱原発世界会議実行委員長／ピースボート共同代表）

2. 福井現地の状況

中嶋哲演（原発設置反対小浜市民の会）

石地優（プルサーマルを心配するふつうの若狭の民の会）

3. 福島からの声

調整中（子どもたちを放射能から守る福島ネットワーク）

4. 国会議員の発言

●主催： eシフト（脱原発・新しいエネルギー政策を実現する会）、福島原発事故緊急会議、再稼働反対！全国アクション、脱原発世界会議実行委員会、ピースボート、グリーン・アクション、国際環境 NGO FoE Japan、原子力資料情報室、環境エネルギー政策研究所、福島老朽原発を考える会、プルトニウムなんていらんよ！東京、原発設置反対小浜市民の会、プルサーマルを心配するふつうの若狭の民の会

●連絡先：ピースボート野平：090-6015-6820 E-mail:nohira@peaceboat.gr.jp

eシフト事務局（国際環境 NGO FoE Japan 内） Tel: 03-6907-7217 Fax : 03-6907-7219